

2030年目標・評価指標（案）について

※ ★は実績値の把握方法について検討が必要な指標

2030年目標	施策	評価指標(候補)
【目標1】 京都らしさを支える生物多様性の持続的な利用を可能にする。	(1)文化を支える生物資源の持続的な利用	京都産チマキザサの利用量★
		ハゼ実生苗の育成本数
		京の旬野菜の供給量
		市内産木材「みやこ杉木」の流通量
	(2)自然の持つ機能を活かした緑の整備	緑被率
		市民一人当たりの公園面積
		指標種(市街地)の生息報告数
	(3)生物多様性に配慮した川づくり	多自然河川の整備地点数
		アユの遡上数
		指標種(河川)の生息報告数
	(4)エコツーリズムの推進	エコツーリズムの実施実績★
	【目標2】 生息・生育地と種の多様性を保全する。	(1)重点保全地域における保全対策の強化
(2)里地里山の保全		地目別面積(田,畑), 生産緑地
		エコファーマー認定者数
		森林整備面積(植林, 保育, 間伐)★
		シカの捕獲数
		指標種(里地里山)の生息報告数★
(3)希少種の保全		京の文化協働再生プロジェクト参加団体数
		京の文化協働再生プロジェクト保全種数
(4)外来生物対策		京都市に定着している特定外来生物への対処率★ (防除活動を実施している特定外来生物/京都市に定着している特定外来生物)

2030年目標	施策	評価指標(候補)
【目標3】 生物多様性に配慮した暮らしとあらゆる主体の活動を促進する。	(1)自然との触れ合いや学習の機会の充実	環境学習施設, 自然体験施設の来場者数 自然に親しみを持っている人の割合(アンケート) 生物多様性の問題を自分ごとと認識している人の割合(アンケート)★
	(2)生物多様性に配慮したライフスタイルへの転換	生物多様性の持続的な利用と保全・再生のための行動を行っている人の割合(アンケート)★ 家庭におけるエネルギー消費量
	(3)生物多様性に配慮した企業活動の促進	生物多様性に配慮した活動を行っている事業者数★ 温室効果ガス排出量 生物多様性保全のための認証ラベルの認知度(アンケート)★
	(4)生物多様性保全活動への支援	生物多様性保全活動団体数
	(5)公共施設・事業における配慮	「京都市公共建築物低炭素仕様」に基づき屋上緑化や壁面緑化, 敷地内緑化を実施している施設数★
	【目標4】 生物多様性保全を推進するための基盤を整備する。	(1)生物多様性の啓発拠点
(2)生物多様性保全のネットワークづくり		生物保全活動登録制度登録者数
(3)学習・保全活動に関する情報の集約・発信		ホームページのコンテンツ更新回数 SNSのフォロワー数
(4)知見の集積		京の生きもの生息調査報告数 モニタリング地点数★